

文化プログラムの実施について

平成29年1月12日

文 化 庁

文化プログラム

1. 東京2020公認文化オリンピックアード

(公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

「オリンピック憲章」に基づいて行われる公式文化プログラム。

組織委員会、国、開催都市、会場所在地方公共団体、公式スポンサー企業、JOC、JPCが実施する大会ビジョンの実現に相応しい事業が対象。

ロゴマーク: 組織委員会が作成(公認マーク)

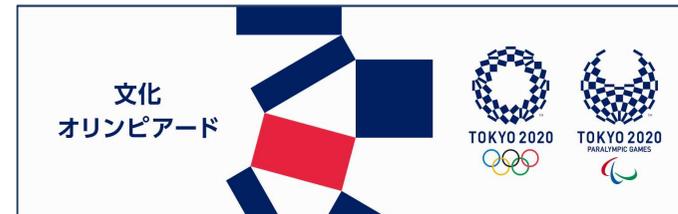
開始時期: 2016年10月

※組織委員会による「アクション&レガシープラン2016」

- ・「東京2020アクション&レガシープラン2016」における残すべきレガシー(文化関連)
「日本文化の再認識と継承・発展」、「次世代育成と新たな文化芸術の創造」、
「日本文化の世界への発信と国際交流」、「全国でのあらゆる人々の参加・交流と地域の活性化」
- ・東京2020文化オリンピックアードの集大成として「東京2020フェスティバル(仮称)」を開催(大会直前の3か月間)

(参考) ロンドン大会の「London2012 Cultural Olympiad」に相当

公認文化オリンピックアードロゴマーク



《参考》
London 2012 Cultural Olympiad ロゴマーク



2. 東京2020応援文化オリンピックアード

(公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

東京2020大会の関連事業として、非営利団体が実施する文化プログラム。

地方公共団体や独立行政法人を含む非営利団体が実施する、東京2020大会の機運を醸成し、オリンピック・パラリンピックムーブメントを裾野まで広げる事業が対象。

ロゴマーク: 組織委員会が作成(応援マーク)

開始時期: 2017年度予定(2016年10月 一部先行実施)

(参考) ロンドン大会の「inspire program」マークに相当

応援文化オリンピックアードロゴマーク



《参考》
Inspire programマーク



3. beyond2020プログラム

内閣官房オリパラ事務局、内閣府知的財産戦略推進事務局、文化庁、東京都

国、地方公共団体、公益法人、企業(公式スポンサー以外の企業を含む。)等が実施する、地域性豊かで多様性に富み、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラム

・日本文化の魅力を発信する取組であり、障害者にとってのバリアや訪日外国人にとっての言語の壁を取り除くなど、すべての人が参画できる社会に向けて、企業等の行動に変革を促す仕掛けとなるイベント等が対象。

ロゴマーク:内閣官房オリパラ事務局が作成予定

【作品1】



【作品2】



【作品3】



開始時期:2016年12月予定

※本年3月2日に開催された「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化を通じた機運醸成に関する関係府省庁連絡・連携会議」(議長:内閣官房オリパラ事務局長)で本プログラムを推進していくことを了承。

実施主体別の文化プログラム

東京2020公 認文化オリ ンピアード

組織委員会、国
開催都市
会場所在地方公共
団体
公式スポンサー企
業
JOC、JPC

東京2020庶 援文化オリ ンピアード

非営利団体
・公益法人
・独立行政法人
・左記以外の
地方公共団体

beyond 2020 プログラム

公式スポンサー
以外の企業

東京2020文化オリンピック事業対象となる取組

【文化芸術性に関する基準】大会ビジョン及び文化オリンピックのコンセプトを実現する事業内容かどうかを総合的に審査

大会ビジョンに基づくもの

①: 全員が自己ベスト（革新性・新規性）

- 大会を契機に新しい取組にチャレンジしている事
- 既存事業であっても、新たな試みを取り入れている事

②: 多様性と調和（参画性）

- 人種や地域、障がいの有無を超えて、あらゆる人々が参加・交流する取組である事

③: 未来への継承（レガシー）

- 2020年以降を見据えた東京・日本の発展に寄与する取組である事
- 次代を担う若者を鼓舞する取組である事

文化オリンピックのコンセプトに基づくもの

①: 日本文化の再認識と継承・発展

- 日本文化の伝統を正しく伝えるとともに革新的な事業
- 次代を担う若者に対し、日本文化のすばらしさについて理解を促す取組

②: 次世代育成と新たな文化芸術の創造

- 野心的・挑戦的・実験的取組であり、前例にない新たな芸術表現
- 若手の芸術家・キュレーター・アートディレクター、学生に参加・活躍の機会を与える取組
- 新作、初上演、初公演

③: 日本文化の世界への発信と国際交流

- オリンピック史に残る大規模かつ創造的なイベント
- 新たな文化や多様な文化が融合・調和した日本の文化の魅力を世界に発信する取組
- 世界中の人々があらゆる人種や宗教を超えて、文化芸術を通じて参加・交流できる事業

④: 全国展開によるあらゆる人の参加・交流と地域の活性化

- 芸術展示、舞台芸術、音楽を見せるだけでなく、対話プログラムや実践型ワークショップなど、無料で参加できる事業
- 人種、性的指向、障がいなど、多様な背景を持つ人が文化芸術を通じて、参加・交流できる取組
- 地域社会の世代間、地域間を超えて、地域の様々な人々が連携共同し、地域の課題解決に向けた事業など、地域を盛り上げる取組

東京2020公認文化オリンピックにおける取組(文化庁主催)

平成28年12月5日現在
※地方自治体等との共催を含む。

No.	事業名	概要	開催期間	開催地	実施場所
1	文化庁芸術祭主催公演 オープニング「日本の四季」	文化庁芸術祭のオープニングイベントとして、邦楽・沖縄芸能・雅楽・日本舞踊の4ジャンルからなる華やかな伝統芸能を上演する。	10月1日	東京都	国立劇場
2	文化庁芸術祭主催公演 10月歌舞伎公演 「仮名手本忠臣蔵」【第一部】	赤穂浪士の討ち入り事件を題材にした「仮名手本忠臣蔵」を上演する。	10月3日 ～ 10月27日	東京都	国立劇場大劇場
3	文化庁芸術祭主催公演 アジアオーケストラウィーク（東京公演）	アジア地域のオーケストラとの交流を図り、アジア人による西洋音楽のスタンダードモデルの確立を目的に東京公演を実施する。	10月5日 ～ 10月7日	東京都	東京オペラシティ
4	文化庁芸術祭主催公演 現代舞台芸術公演オペラ公演(ワルキューレ)	フィンランド国立歌劇場（ヘルシンキ）の協力の下、世界トップクラスの指揮者、歌手、オーケストラが最高水準の公演を創造する。	10月2日 ～ 10月18日	東京都	新国立劇場
5	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 文化会議分科会 「文化芸術資源で未来をつくる～輝き続ける日本へ～」	全国で文化プログラム実施を促進するためのキックオフイベントとして、各地の意欲的な取組の発表を行い、レガシーの創出等について議論する。	10月19日	京都府	ロームシアター京都
6	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向けて	文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向け、障害のある方々による芸術活動や障害のある方々に係る活動をテーマとしたシンポジウムを実施する。	10月21日	東京都	国立新美術館
7	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 「ここからアート・デザイン・障害を考える3日間」	障害のあるアーティストが生み出す作品からなる展覧会等を通じて、障害の有無に関わらず調和して生きる取組を紹介する。	10月21日 ～ 10月23日	東京都	国立新美術館
8	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム バリアフリー映画上映等実施・運営業務	聴覚障害者用のバリアフリー日本語字幕、視覚障害者用の音声ガイドを付して映画を上映する。併せて、バリアフリー映画に対する理解を深めるためのシンポジウムを実施する。	10月22日	東京都	国立新美術館
9	国民文化祭・あいち2016	国民文化祭の愛知大会では「「愛故知新」～伝統を「愛」(いつく)しみ、新しきを「知」り、文化は動く～」のテーマの下、関連イベントを実施する。	10月29日 ～ 12月3日	愛知県	愛知県芸術劇場

No.	事業名	概要	開催期間	開催地	実施場所
10	国民文化祭・あいち2016 「食文化シンポジウム」	生活文化に深く関わる食文化を見つめなおし、海外に誇るべき日本の食文化への理解促進を図るためのシンポジウムを実施する。	11月16日	東京都	浜離宮朝日ホール
11	文化庁メディア芸術祭20周年企画展 —変える力	「変化」をキーワードに、これまで20年間の歩みを振り返りつつ、作品が持つ「変える力」に焦点を当てることで、メディア芸術の未来について考察する。	10月15日 ～ 11月6日	東京都	アーツ千代田3331
12	文化庁メディア芸術祭新潟展 「記憶と記録のモノ漕り」	優れたメディア芸術と優秀なアーティストに接する機会を提供することによって、メディア芸術の理解を深め、発展に資することを目的とする。	10月10日 ～ 10月30日	新潟県	COXMIXビル
13	「実演芸術連携交流事業」シンポジウム 『実演芸術で世界とつながる～アジアのオーケストラの事例から』	アジアオーケストラウィークとの協力により国内外の芸術団体・劇場・音楽堂等の専門家同士の情報共有とネットワーク形成を目指すシンポジウムを実施する。	10月6日	東京都	東京オペラシティ
14	文化芸術創造都市推進事業 「自治体サミット」	文化芸術を核に地域づくりに取り組む地方自治体の先進的な取組を紹介するシンポジウムを実施する。	10月19日	京都府	京都市勧業館
15	危機的な状況にある言語・方言サミット (奄美大会)・与論	危機的な状況にある言語・方言の状況改善につなげることを目的とした大会を実施する。	11月13日	鹿児島県他	与論町総合体育館
16	神社・仏閣・能楽堂などを活用した実演 芸術拠点の形成プロジェクト(和の空間 を活用した伝統文化発信)	神社・仏閣・能楽堂などを活用した地域の芸能を活かした実演芸術の鑑賞機会を提供する。	12月4日 ～ 12月18日	沖縄県他	波上宮他
17	とちぎの元気を世界に！～とちぎ版文化 プログラムを考える～	とちぎの文化資源の発掘・育成し、とちぎ版文化プログラムへの参加協力を促し、県内各地での文化による地域づくりの方向性を議論する。	12月21日	宇都宮市	栃木県総合文化センター
18	文化プログラムシンポジウムin新潟	地域固有の文化プログラムづくりを推進し、地域ごとに文化プロデュースを担う人材の発掘を目的としたシンポジウムを実施する。	12月18日	新潟市	りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館

2020 年に向けた文化プログラム（概観）



文化プログラムに関する文化庁の取組

取組（イメージ）

これからの方向性

文化庁が 主催する プロジェクト

- 文化庁が主催して実施
 - ・スポーツ・文化・ワールド・フォーラム
 - ・メディア芸術祭20周年企画展
 - ・文化庁芸術祭
 - ・国民文化祭・あいち2016

文化芸術立国の基盤づくり
新たな「文化×産業」の拠点の
形成
最高水準の日本文化の発信

地方公共団体、民間等が主 催する取組を 文化庁が補助する プロジェクト

- ・地域の魅力ある文化芸術の取組を支援
 - ・横浜音祭り2016
 - ・瀬戸内国際芸術祭
 - ・あいちトリエンナーレ
 - ・東京都フェスティバルトーキョー
 - ・さいたまトリエンナーレ
 - ・BeSeTo演劇祭新潟 等
- ・劇場、音楽堂支援、トップレベルの
舞台芸術活動、芸術文化の世界発信、
美術館、博物館事業等

地方公共団体、民間の取組に
対する支援の更なる充実

民間、地方公共団体等が 主体的に取り組むプロジェクト

地域の祭り等、草の根的な取組の情報発信

文化情報プラットフォーム（ポータルサイト）の構築

文化芸術立国実現に向けた文化プログラムの推進

(28年度予算額 317億円)

29年度予定額 329億円

趣旨

文化芸術立国の実現に向け、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を活かし、地域の文化芸術活動への支援等を通じて多様な文化芸術の発展や文化財の活用を図り、もって文化プログラムの推進を図る。

【文化芸術の振興に関する基本方針(平成27年5月閣議決定)】

文化プログラム等の機会を活用して、全国の自治体や芸術家等との連携の下、地域の文化を体験してもらうための取組を全国各地で実施する。リオ大会の終了後にオリンピックムーブメントを国際的に高めるための取組を行い、文化プログラムの実施に向けた機運の醸成を図る。

文化プログラムの取組

■文化庁が主催するプロジェクト

- ✓文化庁主催による公演・展覧会・シンポジウム
- ✓文化芸術立国実現のための基盤整備に関する取組 等

■地方公共団体、民間が主催する取組を文化庁が補助するプロジェクト

- ✓劇場や博物館、芸術団体等による公演や展覧会等への支援
- ✓文化財や文化芸術による地域活性化に関する事業への支援 等

■地方公共団体、民間等が主体的に取り組むプロジェクト

- ✓地域のお祭り等、全国津々浦々で実施される草の根的な取組を情報発信

29年度予定額（主な事項）

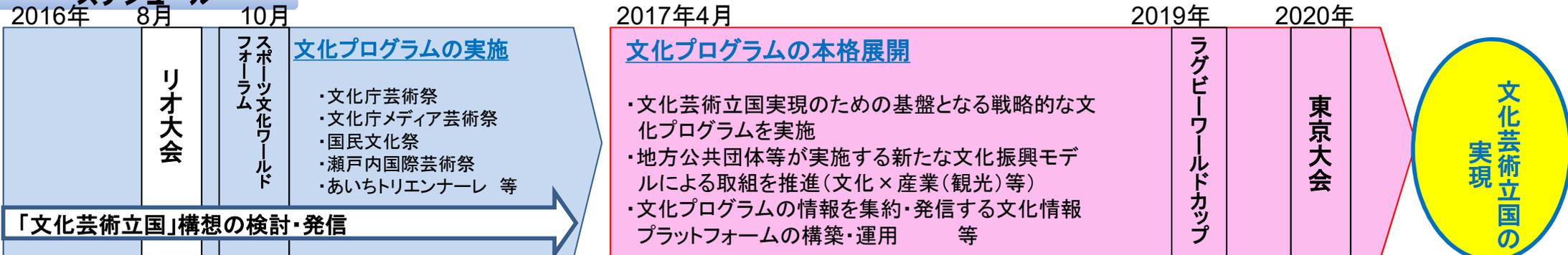
1 国が地方自治体、民間とタイアップした取組の推進 **323億円**

- ①文化庁が主体の取組
 - ・「文化庁芸術祭」、「文化庁メディア芸術祭」、「国民文化祭」、「全国高等学校総合文化祭」等を主催
- ②地方公共団体や民間が主体の取組
 - ・地域の文化芸術資源を磨き上げ活用する取組や、芸・産学官連携による持続的な地域経済の発展や社会的包摂の取組などへの支援
 - ・芸術団体等によるトップレベルの舞台芸術活動等への支援
 - ・芸術文化の世界への発信への支援 等

2 文化プログラム推進のための基盤整備（一部再掲） **9億円**

- ①国立文化施設の機能強化
 - ・訪日外国人向けの鑑賞・体験事業、多言語による解説・案内板の整備、国外への情報発信の強化
 - ・夜間開館の拡充
- ②多言語対応等による訪日外国人対応等
 - ・公立、私立の美術館・博物館、地域の劇場・音楽堂等における訪日外国人向けの鑑賞・体験事業、多言語による解説・案内板の整備、外国語対応可能なボランティアの育成等

スケジュール



趣旨

芸術文化振興上の課題解決のため推進することが必要な公演、展示等の芸術活動やその基盤となる取組について、着実に機動的な実施を図るため、公演・展示等の要件（分野、内容、開催地域、対象者、参加者、実施上の留意点等）を国が示し、芸術団体、関係機関等から企画提案を受け、選考した活動について、国が芸術団体等に委託して実施。

これにより、我が国の文化芸術の水準の向上と国民の鑑賞機会の充実を図り、「文化芸術立国」の推進に資する。

事業内容

課題の選定

【芸術文化振興上の課題例】

- 我が国の実演芸術の水準を世界レベルへ高めることや世界へのアピールが必要。
- 地方や離島・へき地において優れた実演芸術を鑑賞する機会が少ない。
- 高齢者、子育て中の保護者、青少年等を対象とした社会包摂のための文化芸術活動の充実が求められている。
- 実演芸術に関わる女性の活躍を推進することが求められている。
- 更なる文化芸術の発展のために既存の文化芸術分野の枠組みにとらわれない総合的な取組が求められている。
- 障害者の優れた芸術活動の普及の促進が求められている。

要件の提示

要件の提示

【想定される取組の例】

- 世界的に著名な評論家を招へいし、複数の芸術団体の公演を鑑賞し、批評の結果を国内外に公表する取組。
- 地方や離島・へき地において、同種の実演芸術の公演の開催実績が少ない地域における公演の実施。
- 高齢者、子育て中の保護者、青少年等に係る地域の課題への対策として、芸術団体と民間企業、特定非営利活動法人等が連携協力して実施するワークショップ等の取組。
- 芸術団体が民間企業、特定非営利活動法人等と連携協力して実施する女性の活躍を推進するための取組。
- 全国各地のユニークベニュー（文化財等）を活用した分野横断型の公演会・展覧会等の実施。【拡充】
- 障害者の優れた芸術活動の調査研究と国内外への公演、展覧会の開催等。【拡充】

企画公募による事業実施

- 【効果】
- 我が国の芸術水準が世界的なものに高まる → 世界への日本文化の普及とインバウンド拡大
 - 国民の優れた舞台芸術公演の鑑賞機会の充実 → 居住地域等による鑑賞機会の格差の縮小
 - 観客層の拡大 → 入場料収入の増 → 公演数や質の向上 → 観客層拡大といったプラスのスパイラル効果
 - 障害者の芸術作品の実態把握・展示の推進 → 障害者の芸術活動の充実



地域の文化芸術資源を磨き上げ活用する取組や、芸・産学官連携により持続的な地域経済の発展や共生社会の実現に向けた取組を牽引する拠点を形成し、専門的人材の育成や国内外への発信などの取組を関係省庁と連携して支援する。これにより、文化芸術資源を活用した地方創生、ひいては我が国の経済活性化、一億総活躍社会の実現に資することを目的とする。

先進的文化芸術創造拠点形成事業(予定額 500百万円)

【課題】

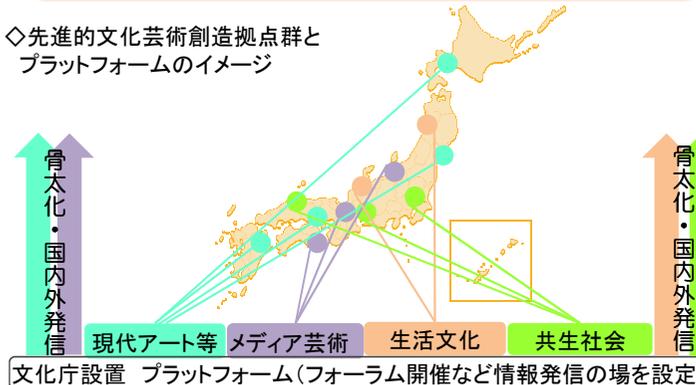
1. 中長期的プランで計画したい地方公共団体が存在
2. 地域の文化芸術を担うプロデューサーなど専門的人材が不足
3. 各団体単独では連携が難しく文化芸術資源を有効に活用できていない
4. 海外発信の戦略性が乏しい
5. 高齢者や障害者等全ての人が参画し活躍できる社会の実現が必要

文化庁が設定する重点分野において、左記課題を踏まえ、**芸・産学官連携**により**持続的な地域経済の発展**や**共生社会の実現に向けた取組を牽引する**地方公共団体の総合的な取組を先進的文化芸術創造拠点として支援

◇先進的文化芸術創造拠点と省庁連携のイメージ



◇先進的文化芸術創造拠点群とプラットフォームのイメージ



文化芸術創造拠点形成事業(予定額 2,400百万円)

○地方公共団体が主体となり、地域住民や地域の芸・産学官とともに取り組む、地域の文化芸術資源を活用した**文化芸術事業を支援**

補助率: 1/2 補助金額8千万円を上限

【取組例】

- ・芸・産学官で取り組む、地域の音楽、舞踊、演劇の公演、現代アート展、メディア芸術祭等



パシフィック・ミュージック・フェスティバル (北海道札幌市)



アース・セレブレーション (新潟県佐渡市)

○地方公共団体等による文化事業の実施体制を構築する取組を支援

補助率: 1/2 補助金額2千万円を上限

【支援内容】

- ・実施体制の運営費や調査研究費等

- ・地域で光る文化芸術創造拠点の形成
- ・地方公共団体の文化事業の実施能力向上

原則5年間の継続補助 定額補助 1億円/年
中間評価等により進捗状況を確認し、支援経費に反映

トップレベルの文化芸術創造拠点の形成

【支援内容】

・芸・産学官が連携して取り組む以下の事業

①文化芸術事業等

- ・文化芸術事業開催のための出演費、舞台費、会場設営費等
- ・観光客ニーズや商品化に向けたニーズ把握のための調査研究費等

②人材育成事業

- ・セミナー等開催費等
- ・専門人材活用の報償費等

③ネットワーク構築事業

- ・関係者ネットワーク構築のための会議開催費等

●重点分野例

- 現代アート・実演芸術等
- メディア芸術(マンガ・アニメ等)
- 生活文化(工芸・食文化等)
- 共生社会(障害者・高齢者等)

文化芸術創造活用プラットフォームの構築

文化庁は、上記の先進的文化芸術創造拠点を中心として**分野ごと**に**取組や知見をパッケージ化**して**骨太化するプラットフォームを構築**。フォーラムの開催など**国内外への情報発信**等を行う。

芸・産学官連携により、文化芸術資源を活用し、経済的価値、社会的・公共的価値を創出する新たな社会モデルの形成を推進

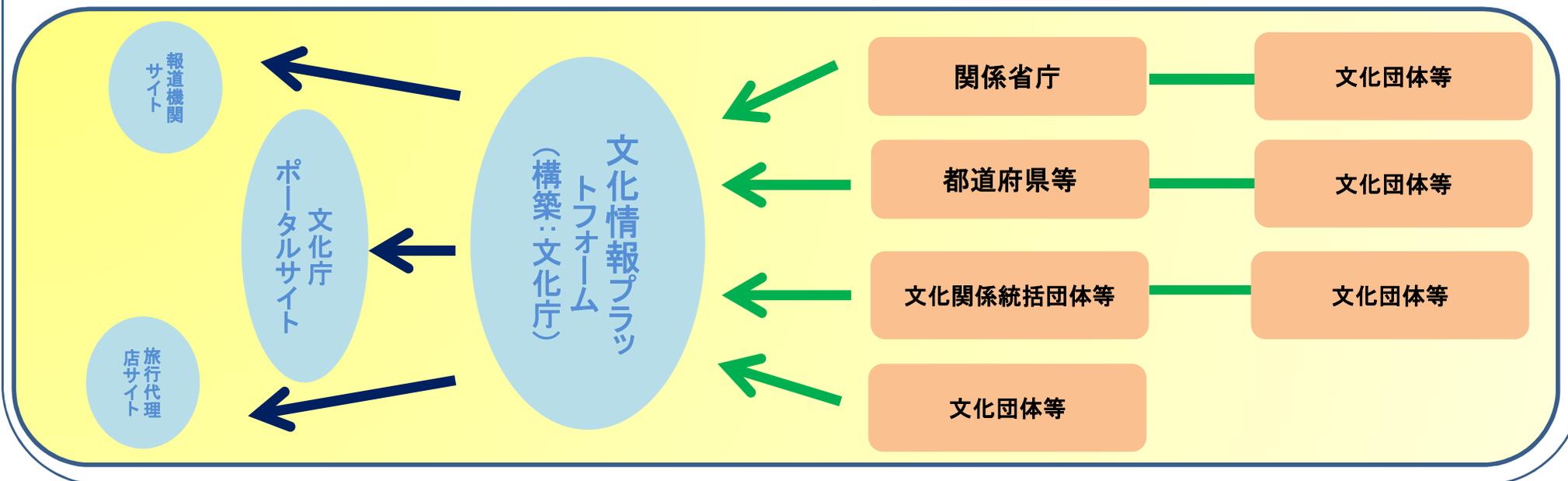
文化情報プラットフォーム(ポータルサイト)構想について(イメージ)

概要

- 全国各地で実施される文化活動や文化施設の情報を集約するプラットフォーム(ポータルサイト)を構築し、多言語で国内外に発信することを目指す。これにより、地域の文化資源を発掘し、文化芸術の振興や観光・経済の振興に貢献し、2020年以降のレガシーとする。
- ・本プラットフォームの情報は、オープンデータとし、幅広い活用を目指す(例:文化イベント案内サービス、文化観光ツアーサービス)
 - ・平成28年度は本プラットフォーム構築のための調査研究を実施

運用イメージ

- ・文化芸術の発信・見える化を促進する観点から、文化庁が「文化情報プラットフォーム」を構築。本プラットフォームを広く活用してもらうため、関係機関にシステムを提供。関係機関はシステムを活用し、情報を入力。
- ・本プラットフォームに集約された情報をもとに、目的別のポータルサイトを構築することが可能。



全国で行われるプロジェクト(例)

文化プログラムの機会を活用し、地域の文化財や伝統芸能、各地の祭り・花火、食、現代舞踊や音楽、アートやマンガ・アニメなど様々な日本文化の魅力を発信し、観光振興、産業振興、地方創生を図る。

※以下は現在構想中のものであり、今後変更があり得る

全国で文化芸術活動を鑑賞

まんが王国とっとり

鳥取県ゆかりの「まんが」の魅力を活かし、国際まんがコンテスト等を実施
2015年実績：来場者数約3万人、経済効果約3億円

広島国際アニメーションフェスティバル

世界四大アニメーション映画祭の一つ
2014年実績：来場者数約23万人以上（関連事業含む）、経済効果約3.3億円

瀬戸内国際芸術祭2019

美しい瀬戸内海を船で巡りながら、島の自然や文化に溶け込んだアートを体感する現代アートの祭典
2013年実績：108日間で来場者数約107万人、経済効果約132億円

マチ★アソビ

「徳島をアソビ尽くす」ことを目的としたアニメの複合エンターテインメント。
2015年実績：25日間で来場者数約16万人、経済効果約18億円

くるめoff(outdoorfun/festival)

文化の力による地域活性化のため、久留米グルメシティプラザを中核に演劇・音楽・大道芸のフェスティバルを展開しにぎわい創出

アース・セレブレーション

1988年より佐渡で開催している太鼓芸能集団「鼓童」による国際フェスティバル
2015年実績：3日間で約8千人来場（うち10%が外国人）

国際工芸サミット

2020年に向け、北陸3県で「国際工芸サミット」を開催し、工芸の魅力を世界に発信

湯涌ぼんぼり祭り

地元温泉街（湯涌温泉）を舞台としたアニメ「花咲くいろは」で登場した架空の祭りを再現

大地の芸術祭

越後妻有アートトリエンナーレ2018

里山を舞台とする地域内外のアーティストによる作品制作・展示などのアートの祭典
2015年実績：50日間で、来場者数約51万人 経済効果約51億円

札幌国際芸術祭2017

北海道の自然と資源を活かした国際的なアートの祭典
2014年実績：72日間で来場者数約48万人 経済効果約59億円

東川町国際写真フェスティバル

東川町で開催される「写真と自然/人間/文化」をテーマとした国際写真展
2015年実績：37日間で来場者数約4万人 経済効果約2億6千万円

三陸国際芸術祭

三陸の郷土芸能による復興と新たな文化芸術の創出を目的とした祭典
2015年実績：76日間で来場者数約43千人

上野「文化の杜」新構想「東京数寄フェス」

日本屈指の美術館・博物館及び東京芸術大学など文化芸術資源が集積する上野を世界有数の芸術文化都市に向けたアートプロジェクトを開催

土祭 Living with the Earth

益子の「歴史や風土」「自然環境」をテーマにしたアート展示・演奏会・ワークショップを開催

横浜音楽祭2019

世界水準のプログラムで都市の魅力を発信する、参加型の音楽フェスティバル
2013年実績：72日間で381万人が参加、経済波及効果152億円

ヨコハマトリエンナーレ2017

2001年から創造都市横浜で開催している、世界最新の現代アートの動向を提示するフェスティバル
2014実績89日間で22万人が来場、経済波及効果24億円

世界音楽の祭典in浜松

多様な楽器と音楽文化がジャンルを超えて融合する音楽祭

あいちトリエンナーレ2019

先端的な現代美術やパフォーマンスなど多彩な芸術祭
2013年実績：79日間で約67万人が来場 経済波及効果69億円

国立文楽劇場 等

外国人向け文楽鑑賞教室 多言語での鑑賞

国立劇場・美術館・博物館

外国人向け歌舞伎鑑賞教室 多言語での鑑賞 など

羽田空港跡地を活用した現代アート振興

世界水準の美術修復、梱包・運搬、展示業者など美術関連技術を集積。最先端技術とアートの融合プロジェクトの実施

京まふ

京都国際マンガ・アニメフェア
西日本最大の総合見本市
2015年実績：9月中の2日間で来場者数約37千人、経済効果約5.5億円

参 考

2012年ロンドン大会における文化プログラムの仕組み



■カルチュラルオリンピアド (Cultural Olympiad) 【期間 4年間】

ロンドン2012大会における、オリンピック憲章に基づいて行われた、公式な文化プログラム。
このうちナショナルプロジェクトは、音楽、演劇、障害者芸術など、8つ(※)から、構成される。(※)アンリミテッド、ワールド・シェークスピアフェスティバル、美術館参加プログラム、映画製作、遺産発信、芸術家へのアイデア募集、音楽プログラム、スポーツと芸術をテーマにする活動



■ロンドン・フェスティバル (London Festival) 【期間 12週間】

カルチュラルオリンピアドの最後を締めくくる、最大の文化イベント。英国五輪開催中も含めた12週間にわたり行われた。

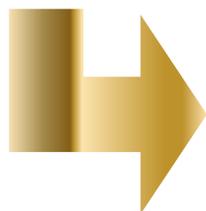
出典: "Reflections on the cultural Olympiad and London 2012 festival"



■インスパイア・プログラム (Inspire Program) 【期間 4年間】

多くの人々に、ロンドン2012大会の一部を担ってもらうためのプログラム。2012年の大会にインスパイアされて実施される優れた非営利プロジェクトやイベントをブランド化して宣伝効果を高めることを狙いとした。
※インスパイア・プログラム自体は、カルチュラルオリンピアドに含まれないテーマ(例:ビジネス)も含むもの。

出典: "Inspire legacy book "



◆ ロンドン発のインスパイアマーク(非営利エンブレム)やロンドン・フェスティバルマークは、公式エンブレムと統一感のあるデザインを採用することで、カルチュラルオリンピアド全体の盛り上がりにも寄与した。

※ なお、リオ大会では、2015年8月に文化プログラムについての公式エンブレム、非営利エンブレムが策定され、プログラムの募集がスタートした。(プログラム実施は、2016年4月以降。)

スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの概要

1. 趣旨・目的

ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、関西ワールドマスタースゲームズ2021に向けて、観光とも連動させつつ、スポーツや文化による国際貢献や有形・無形のレガシー等について議論、情報発信し、国際的な機運を高めるためのキックオフイベントとしての国際会議を、2016年リオ大会直後の秋に、京都と東京で開催。

2. 開催時期・場所

2016年10月19日(水)～10月20日(木)： 京都(ロームシアター京都等)

10月20日(木)～10月22日(土)： 東京(六本木ヒルズ等)

3. 主な内容

(1) 京都オープニング・東京プレナリー

【京都オープニング】
義家副大臣による開会宣言



【東京プレナリー】
森東京オリパラ組織委員会会長、バツハIOC会長、クレイブンIPC会長等による挨拶・基調講演や、官民パネルを実施



(2) 国際会議

【スポーツ関係】

- ・スポーツ大臣会合
- 「スポーツ・フォー・トゥモロー」
- ・スポーツセッション
- 「ラグビーの魅力・ラグビーワールドカップの力」
- 「オリンピック・パラリンピックがもたらすレガシー」



【文化関係】

- ・文化会議全体会
2020年に向け、文化振興の機運を高め、文化による国づくりに一丸となって取り組んでいくことを宣言
- ・文化会議分科会
「文化芸術資源で未来をつくる～輝き続ける日本へ～」
- 「文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向けて」等



(3) 官民ワークショップ

世界経済フォーラムと日本政府が連携して新たなライフスタイル等をテーマとしたセッションを実施



(4) 文化イベント

二条城等、世界遺産の神社・仏閣を活用し、我が国の伝統芸能等と海外文化・現代アート等が調和したイベントを開催



その他、東京・京都の各地において、六本木アートナイト等の各種協賛イベントと連携

「2020年を見据えた文化による国づくりを目指して(通称:京都宣言)」(骨子)

スポーツ・文化・ワールド・フォーラム文化会議全体会(10月19日)、2020年に向け、文化振興の機運を高め、文化による国づくりに一丸となって取り組んでいくことを宣言。

(総論)

- 文化を創造・享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことは人々の願い。さらに文化は心豊かな社会を形成し、世界の平和にも寄与するもの。
- 我が国は、2020年東京大会の開催を控えている。オリンピック・パラリンピックは文化の祭典でもある。
- リオ大会のオリンピック閉会式では、我が国が誇るポップカルチャーを活用した創造的な演出が世界に大きな感動を与えた。
- 今こそ、多様な文化の振興はもとより、産業振興や海外展開、地方創生等への大いなる可能性を秘めた文化による国づくりをオールジャパンで推進すべきである。

(各論)

- 一 文化に関わるあらゆる人々が行う多様な文化活動は、人々が文化を鑑賞し、参加し、創造する上で極めて意義深いものであり、全国各地で優れた文化活動が活発に展開されることを大いに期待する。
- 二 我が国は、2020年東京大会開催に向け、全国的な機運を醸成するとともに、地域性豊かで多様性に富み、次世代に誇れるレガシーの創出に資する取組を、文化プログラムとしてオールジャパンで推進する。
- 三 これからの文化行政は、文化を資源として捉え、文化への投資が新たな社会への発展にもつながるよう転換させる。グローバル化の中、戦略的な国際協力・国際文化交流を進める。さらに、多様な文化の振興を通じて産業振興や地方創生、社会課題の解決等を目指す文化による国づくりを推進する。このため、必要な機能強化を図るとともに、従来の文化行政の範囲に閉じることなく関連分野との連携を強化し総合的に施策を推進する。

内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局
内閣府知的財産戦略推進事務局
文化庁
公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
京都府
京都市